

気候情報

2008年5月の日本の天候

- 北日本から西日本では気温の変動が大きかった
- 東日本太平洋側・西日本で多雨
- 沖縄・奄美では平年より大幅に遅い梅雨入りで少雨

5月の天気概況

上旬末から中旬と下旬後半に強い寒気が南下するなど、北日本から西日本では気温の変動が大きかった。数日の周期で低気圧が日本付近を通過し、天気は全国的に数日の周期で変わった。低気圧が日本の南海上や本州南岸を進むことが多かったため、東日本太平洋側と西日本では多雨となった。特に関東甲信地方の月降水量は、1946年以降5月としては第3位の多い記録となった。太平洋高気圧の西への張り出しが弱く、前線が沖縄付近に持続して停滞することがなかったため、沖縄地方と奄美地方では梅雨入りが平年より2週間程度遅れ、沖縄・奄美では少雨となった。5月としては1951年以降、最多タイ記録となる4個の台風が発生した。

上旬：低気圧が日本の南海上と北海道の北を数日の周期で通過し、天気は全国的に周期的に変化した。上旬前半は北海道の北を通過した低気圧に向かい、暖かな気流が入ったため、北日本を中心に気温は平年を大きく上回ったが、上旬末には強い寒気が南下し、気温は大幅に下がった。

中旬：13日から14日頃に寒気を伴った低気圧が、19日から20日頃には日本の南海上の台風第4号を含む深い気圧の谷が通過し、全国的に天気が崩れた。特に19～20日は東日本太平洋側で大雨となった。その他の日は高気圧に覆われ、晴れたところが多かった。台風第2号、3号、4号が日本の南海上を相次いで北東進した。

下旬：北日本では低気圧や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。東・西日本では24日から25日頃と28日から29日頃に低気圧の影響で、所々で大雨となった。沖縄・奄美では22日から23日頃と29日以降を中心に前線の影響を受け、曇りや雨となった。沖縄地方と奄美

地方では平年より2週間程度遅く、22日頃に梅雨入りとなった。九州南部と四国地方では28日頃に梅雨入りとなった。

5月の気候統計

月平均気温：東日本と西日本では高く、北日本と沖縄・奄美では平年並だった。なお、北日本から西日本にかけては気温の変動が大きかった。

月降水量：東日本太平洋側でかなり多く、西日本で多かった。一方、沖縄・奄美では少なく、北日本と東日本日本海側では平年並だった。

月間日照時間：東日本から西日本にかけての日本海側で多かった。一方、北日本と東日本太平洋側では少なく、西日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

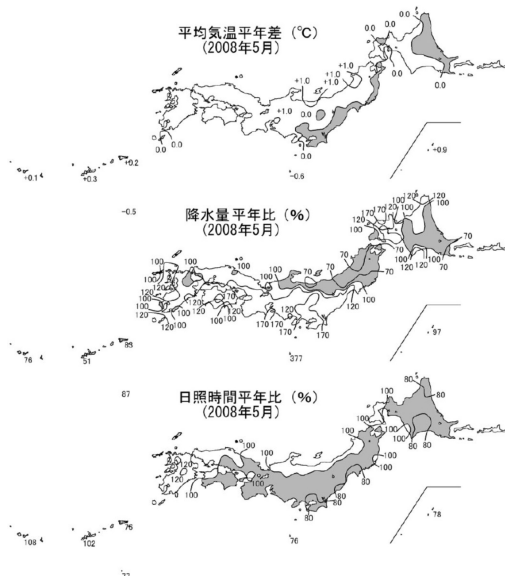
(気象庁観測部統計室)

5月の記録(1位更新のみ)

・月降水量多い方から(mm)

八丈島 854.0 千葉 236.5

2008年5月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。